令和５年　４月

令和５年度　練馬区立北町小学校学校経営方針（保護者向け）

練馬区立北町小学校
校　長　瀧嶋　克己

１　教育目標

北町小の教育目標

〇やさしく・・・他人の気持ちを理解し、思いやりの心で接する子供
◎かしこく・・・自ら考え、正しい判断をし、よりよいものを求める子供
〇たくましく・・心身の健康に努め、ねばり強く活動する子供

《教育目標を達成するために》
□「笑顔かがやく北町の子　みんなで育てる北町の子
〇北町小学校の「よ」「あ」「け」
「よ」よいところ見つけ名人になろろ
「あ」あきらめずに取り組もう
「け」けじめをつけよう（今年度は、　話を聞くこと　あいさつ）

２　思い描く学校像→活力のある学校（学校は組織体である。まずは一人一人を学年で）

教職員、保護者、地域が子供たちのために、正面から向き合い全力を尽くす学校を目指す。

（１）子供たちには「笑顔」と「自己肯定感」「達成感」をもたせる学校
・毎日楽しく登校し、自分の力を存分に発揮できる
（２）教職員には「やりがい」と「誇り」がもてる学校
・子供との信頼関係を築き、自分自身の指導力を高め、子供の成長を喜びと感じる教師
・教職員にも「笑顔」や「達成感」仕事が楽しいと思える
（３）保護者・地域には「安心」・「安全」と「安定感」を与える学校
・安心・安全が確保され、信頼される学校。また、学校を誇りに思える
そのために「協働（組織目標に向け一枚岩）」「学び」「対話」を大切に学校経営を進める。

３　教育目標を達成するために

やさしく

１ 生活指導
（１）３つの「あ」の実践
・「あいさつ　あつまり　あとしまつの共通実践
・家庭と協力して基本的な生活習慣の確立を図る
（２）道徳教育の充実
・全教育活動を通じて道徳的実践力を高めていく
・週１回の「特別の教科　道徳」の授業を大切にする
（３）子供一人一人の居場所のある学級・学校
・年間３回のふれあい月間の充実（子供の実態把握・アンケート調査の実施）
・子供との会話（朝、子供を教室で迎える。日記など）
・「北町ＳＮＳルール」の定着（情報モラル）
・学級活動の充実「係活動」「当番活動」「学級会」「キャリアパスポート」など
（４）たてわり班・登校班の充実

・異学年の子供たちが豊かに触れ合い、人とのコミュニケーション力を育てる
・リーダーシップ、フォロワーシップを育てる
（５）教育相談の充実
・ＳＣによる５年生児童全員面接（１学期中）
・心のふれあい相談員による３年生児童全員面接（１学期中）
（６）特別支援教育の充実（多様性・合理的配慮）
・特別支援学級（すまいる）　・特別支援教室（けやき）の充実
・個別の支援計画の作成 （希望者）　・読み書きアセスメント（２年）

かしこく

１ 全教科、領域を通して学びに向かう力を育成する
２ 基礎的・基本的な学習内容の定着
（１）算数の授業改善→１・２年生で指導工夫改善教員との少人数授業体制の実施
３年生以上で少人数習熟度別授業の実施
→東京ベーシックドリルを通して学習状況を把握
（２）外国語活動（３・４年３５時間）・外国語（５・６年　７０時間）の充実
（３）読書旬間（青葉読書月間、もみじ読書月間）
（４）家庭学習の定着→全学級で
・例えば低学年では、音読や計算・漢字練習など（教師側が意図的・計画的に）
高学年では、自主学習も取り入れる（自分で計画を立てて実施）
３ 学習習慣の確立（保護者協力の下）→規律ある学習習慣の確立
４ 地域に開かれた教育活動
・インターンシップ（６年）　・町たんけん（２年生）など
５　ＩＣＴの活用
・効果的な児童用タブレットの活用

たくましく

１ 健やかな体の育成と体力向上
（１）新体力テストの実施→実態・把握
（２）外遊びの励行→休み時間には、外遊びを奨励し様々な運動遊びをとおして
体力の向上並びに友達とのかかわりを高める
（３）指導と評価の一体となった体育的活動→短縄・マラソン月間の実施
２ 学校２０２０レガシー
・「スポーツ志向」「障害者理解」「ボランティアマインド」「日本人としての自覚や誇り」「豊かな国際感覚」を「学ぶ」「観る」「する」「支える」の視点で育てる。
３　保健指導・安全教育・給食指導、教室環境の整備
（１）学校給食の充実→安全、安心、おいしい給食の提供
◎丁寧な給食指導（準備から片付けまで）
・食物アレルギー対応の徹底
・異物混入をさせない（いつ、どこから、どのようにして）
（２）清掃活動の実施
・昼休み後に全校清掃活動の再開